

## 弥生3月 ありがとうの思いをこめて

弥生3月、冬が終わり草木が生い茂る時を迎えました。いよいよ、コロナに翻弄された令和2年度も後わずかとなりました。6年生も卒業の時を迎え、どの学年も今年度の教育課程を修了します。今年は、感染防止のために、これもできないんだと何度も歯がゆく口惜しく思ったことはありません。最後に保護者の皆様に子どもたちの成長した姿を見せようと計画していたオープンスクールも非常事態宣言のために実施できませんでした。そんな中で、子どもたちはよくがんばってくれました。学校を創れ！未そして挑を体現しようとしてコロナ禍の中でよく耐えて戦ってくれました。ひろリンピック、ひろジック♪コンサートが新たに生まれ、仲間とつなぎ、未来へとつないで参りました。



広野小伝統のおはようかけ足

### お世話になった見守り隊の皆さん



さて、3月は仕上げの月であり、来年度へつないでいく月であるのはもちろんのこと、感謝の気持ちを伝える月ではないでしょうか。私は子どもたちに、ありがとうの気持ちを伝えてほしい。1年を振り返り自分の成長を感じ取り、その成長は、たくさんの人に見守られていることを知ることが、周りの人を大切に、自分を大切にできる人になるための第一歩だと考えます。学校では、2月の生活目標を「感謝の気持ちを伝えよう」とし、ありがとうの気持ちを伝えようと取り組んできました。今までリーダーとして学校を引っ張ってきてくれた6年生とお別れする「6年生を送る会」をコロナ対策をして実施

します。みんなを見守ってきてくれた見守り隊、老人クラブ、交通安全指導員や学校安全指導員、給食室などの皆様に感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」は実施できませんが、皆さんにお礼の手紙を届けます。子どもたちに「誰に感謝の気持ちを伝えたいですか」と聞くと、真っ先に、みんな「お父さん、お母さん」と答えます。照れくさそうに、きっと、言いにくいと思いますので聞いてあげてください。ありがとうの言葉を。

そして、最後に私もこの広野小学校にありがとうと言いたい。この広野小からたくさんの思い出をいただきました。38年前教師となって、サッカーの練習試合に来た時の驚き。保護者や地域の皆さんと先生たちが一緒になってわんぱく広場を作っている姿を目の当たりにし、新しい学校の息吹を感じ、鍛錬遠足やおはようかけ足で鍛えている子どもたちに何度やっても勝てない悔しさを味わい、そのたくましさに驚いたことは今でも忘れていません。初めて教頭になったのも広野小でした。何もわからないで走り回っていた2年間でした。そして、最後の教職生活を校長として4年間もこの広野小学校で務めさせていただきました。学校を創れ！と呼びかけ、子どもたちと先生たちとそして保護者・地域の皆さんと学校を創る楽しさを十分に味わわせていただきました。私は、この広野小から子どもたちから多くの元気をいただきました。

ありがとう 広野小学校

40周年から未来へつなげ 広野小学校

ありがとうはすべての人の心をつなぐ魔法の言葉

### 38年前のあの光景

